

私のシーフィールド体験

あなたはなぜ、英語を海外で勉強したいと思ったのですか？この質問に対してすべての人に、それぞれの答えがあることでしょう。

私がなぜ語学留学を決心したのか、実際この学校でどんな時間を過ごしたのかをズバリお話ししましょう。

かなり話はさかのぼりますが、私は小学生の頃から、観光で訪れた外国人に話しかけたくてしかたない、といった好奇心旺盛な子供でした。しかし、英語で道を尋ねられる度に、上手く説明できず、悔しい思いをしていました。もし英語が話せたら世界中の人とコミュニケーションがとれるのに・・・！と。そんな子供時代を過ごした私は

青春時代に突入します。ものづくりに興味があり高校時代は陶芸を、その後大学、研究所でガラスアートを学びました。私の学校は海外からの講師が常時教えており、年に数回、海外の作家を招いての授業もあります。このような環境の中で、私は英語が話せることで、自分の世界がどれほど広がるかということに気付いたのです。英語が出来ると海外での作家活動も可能です。そして研究所を卒業後すぐに、6ヶ月の語学留学をする決意をしました。学校選びに迷いはありませんでした。なにしろ、この学校は私のボーイフレンドの母校であり、彼のお姉さん、弟も卒業していて彼らのお墨付きでしたから。



いよいよ、Christchurchに降り立ち、人生初の海外生活の始まりです。ホストファミリーは温かく私を迎え入れてくれました。(今では私にとって彼らはNew Zealandで見つけた宝物となりました)そしてやって来ました、初の登校日！今でも初めて学校に向かった日の、胸の高鳴りを覚えています。学校へ向かうバスはビーチサイドを走り、潮の匂いが私を開放的な気分させました。とにかく、会う人すべてに自己紹介し、少しでも早くここで出会った人達の名前を覚えよう！と意気込んでいました。

何しろ、ここはいろんな国から生徒が集まる国際色豊かな交流の場であり、もちろん私の人生の中で初めての経験なので、毎日が驚きと発見の連続でした。

先生方は皆、本当に温かく熱心で、且つ決して生徒を退屈させない魅力的で個性的な人柄を持ち合わせています。そのおかげで私は心から楽しみながら英語の学習に取り組めたのだと思います。



初めのうちは英語で会話することに不自由に感じるが多々ありました。相手に伝えたいのに、伝わらないもどかしさ、焦り。しかし、その気持ちをバネにしてもっと英語で話したい！という一心で勉強してきた気がします。初めて学校に足を踏み入れた日から4ヶ月が経った今、あの時と同じ「英語を話せるようになりたい！」という強い気持ちで過ごしていることは幸せだと思います。そのせいか、ここでは日本語を話したい

と思ったことはありません。生徒は世界各国、スイス、台湾、サウジアラビア、ドイツ、タイ、中国、メキシコ、韓国・・・今まで知ることのなかった新たな世界との出会いです。まるで異なった国の代表が、英語という語学を通して意見を言い合う首脳会議、そしてよきライバルとして共に学ぶ。日本人として、一人の人間として恥ずかしくないように、という意識も生まれました。放課後には、ビーチでドッチボール大会を開催して砂だらけになりながら真剣に遊んだり、テニスをしたり、学校が閉まるまでとりとめのない話をし、週末には手作りの料理でパーティーをして・・・思い切り楽しい時間を過ごしました。

ここで学校が位置するニューブライトン、そしてクライストチャーチでの日々の生活について少し具体的に紹介したいと思います。学校から徒歩5分、ニューブライトンライブラリーは私のお気に入りの場所で、放課後ここで勉強するのが日課です。私の人生の中で、一番居心地の良い図書館ランキング1位を獲得したこの図書館は、目の前に美しいビーチが見渡せ、すがすがしい気分で勉強に集中できます。もちろん文法書、DVD、日本のコミックの英語版など、語学上達に一役かってくれるアイテムが揃っています。

学校の近くには、無料で開放されているテニスコートがあり、放課後に汗を流してリフレッシュできます。学校でラケット&ボールを借りることが出来るのでご心配なく。

Lyttelton は車で学校から10分ほどの場所に位置する、海に面した港町です。小高い丘に登れば、広々とした海の上にはヨットが浮かび、遠くの山々、色とりどりの小さな家々が目に飛び込んできます。私はこの場所へハイキングに連れてきてもらったのですが、鳥のさえずりを聴きながら進む森の小道や、崖の真横を通るスリル満点のコースを楽しみ、本当に心からリフレッシュできました。山のふもとからゴンドラに乗って頂上まで登るコースや、マウンテンバイクで回れるコー

スもあって、楽しみ方はいろいろです。ハイキングコースの途中で、お腹が空いたら、ランチタイム！いつものサンドイッチがこれまた美味しいこと！学校からほんの少しの距離にこのような素敵な場所があることはとても贅沢なことだと思います。

私はものをつくることに興味があるので、週末は町の中心部にあるアートセンター (The Arts Centre) に時折出かけていました。毎週土曜日、日曜日は、Weekend Market も開催され、手作りの品や、フードコートの市が立ち並び、本当に賑やかです。アートセンターとは具体的にどう



いうものかということ、時代を感じさせる建物の中にいくつものブースが入っている複合施設です。ジュエリー工房、ニット工房、Book shop、美味しいホットチョコレートで噂のカフェや、7件をこえるアートギャラリーは随時違った展示を催していて、見るたびに新しい発見が待っています。ほっとひといきできるカフェも、週末にぴったりです。私のお気に入りにはビーズの専門店、Beadz UNLIMITEDで、ここではお気に入りのビーズを選んで、その場でビーズ

ジュエリーを制作することができます。種類が豊富なので、お気に入りを選ぶのも一苦労？かもしれませんが、あれこれ迷うのもまた楽しみです。道具も貸し出してもらえるので、自分だけのオリジナルジュエリーの制作に時間の経つのも忘れて、ついつい没頭してしまいます。ニュージーランドならではの、貝を加工したビーズも手に入るのも魅力です。

さて、これまでの紹介を読んでもらえれば、もうおわかりでしょう？私が本当にこの学校、この町が大好きだということ。ここでの時間をどう過ごすかはあなた次第です。最後に、海外で学ぶ貴重な時間を過ごすのに Seafield School で学ぶこと、Christchurch での生活はあなたが海外留学へのドアを開けて、心を開いて飛び込めば、健康的で素晴らしい時間を与えてくれることでしょう。